

# ありまの通信

令和元年8月

有間野住民協議会



## 経過報告

5月19日（日）有間野住民協議会総会において、令和元年度の事業計画及び、予算額**1,545,923円**が承認されました。主な事業として下記に記載いたします。

- ・夏季美化運動 各組毎、美化活動をお願いいたします
- ・有間野盆踊り 有間野の伝統行事として毎年開催
- ・防災訓練 秋頃開催予定（日時・内容については決定次第お知らせします）
- ・三世代交流会・子供活動 グランドゴルフ大会など（第1回は4月開催済み）
- ・敬老事業 秋頃開催予定（日時・内容については決定次第お知らせします）
- ・地域づくり推進活動 幅広い年代の参加者によるコミュニケーションを図るイベント
- ・健康ウォーキング 山茶花の大木までのウォーキングを予定（11月～12月頃）
- ・寄せ植え講座 12月初旬に開催予定
- ・元旦駅伝 41回目となる新春の恒例行事
- ・料理教室 ぎんなんクラブを主体とし隔月開催
- ・卓球同好会 卓球同好会により卓球を楽しみ健康づくりを推進



## 令和元年度役員

会長 廣田恭次 副会長 小林健三 野呂香代子 書記 長井千秋 会計 野呂京子  
監事 南明彦 野呂勝彦 事務員 藤岡智子

## 盆踊りのご案内

8月14日（水）雨天の場合は15日に延期（15日雨天時は講堂にて開催）

場所：旧有間野小学校校庭

午後6時より夜店開店

午後7時30分より手踊り開始

午後8時30分頃よりミニ打ち上げ花火開始（消防団有志により実施）



帰省客にもお声がけいただき、多くの方々のご来場をお待ちいたしております

お願い

今年も打ち上げ花火を実施いたします。花火購入費用は寄付金により賄っております。

当日、次年度用花火基金募金箱を設置いたしますので皆様のご支援をお願い致します。

裏面へ続く

お知らせ

## エンディングノート希望者募集について

エンディングノートとは、自身が亡くなったときのために備えて書くノートのことです。「終活」の一環で作成されるノートであり、人生の最期をどう迎えるのか、残りの人生をどのように歩いていくのかを考えるために書きます。

松阪市でもエンディングノートへの取り組みが始まっています。希望者への説明会も各地域毎に開催されています。有間野でも第1回目として7月26日に数名の方々が受講されました。この取組自体、ご存じでない方も多いと思われるので、改めて希望者を把握し開催を予定しています。後日、回覧を通じて案内させていただきますので、ご希望の方は、一度検討しておいてください。

## 今後の地区の課題

今後の有間野区の人口推移 (2010年・2015年度の国勢調査より推計参考値)

	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
総数	267	244	214	183	153	127	106	90	75
男総数	121	107	91	73	57	43	33	25	20
女総数	146	137	123	110	96	84	73	65	55

上表（あくまでも参考値）の様に、この先人口減少が懸念されるところです。有間野に限らず、山間部ではどこの地域でも同事象が発生し、荒廃化が進み、次世代を担う住民にとっては、地域の維持管理に過大な影響が想定され、負担減少の対策が押し迫っている状況化にあります。

若年層の定住が一番望ましく、空家バンクへの登録等により移住推進を図り、転入者を呼び込む対策が求められていますが、様々な課題があり簡単に実施し、継続していく対策としては、かなり困難かも知れません。

有間野においても、若者の定着・移住推進と合わせて、住民の暮らしと心に寄り添った集落を継続するため、維持管理方法等、将来を見据えた見直しも検討していく必要が考慮されます。

## 下宿先の募集

飯南高校では地元の進学生徒減少に伴い、県外からの入学希望者受け入れが検討されています。定員確保・学校の存続・及び、地域の活性化への取り組みの一環とし、宮前・有間野・粥見地区（自転車通学が安易）を対象に、県外生徒4名までの下宿先を募集しています。但し、各年度において定員に満たない場合のみの対策であり、受け入れ時期は未定となっています。将来の飯南・飯高地域の活性化対策として、皆様のご理解・ご協力をお願いします。

詳しくは今月の広報紙とともに各戸に配布されているチラシをご覧ください。